

2020年1月20日

各 位

不動産投資信託証券発行者名

日本リートファンド投資法人 (コード番号 8953)

代表者名 執行役員 難波 修一

URL: <https://www.jrf-reit.com/>

資産運用会社名

三菱商事・ユービーエス・リアルティ株式会社

代表者名 代表取締役社長 岡本 勝治

問合せ先 執行役員リート本部 荒木 慶太

TEL: 03-5293-7081

CDP 気候変動プログラムの評価結果に関するお知らせ：スコア B を取得

日本リートファンド投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、2019年に実施された気候変動情報開示に対する活動を評価するCDP（カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト）気候変動プログラムにおいて、継続的な取り組みが評価され、前年のスコアCからスコアアップし、スコアBを取得いたしました。



1. CDP について

CDPとは、運用総額96兆ドルの資産を保有する世界の機関投資家のサポートの元で上場企業の温暖化対策を調査している国際NPOであり、2016年11月4日に発効となったパリ協定の実行性を担保する民間の取り組みとして、注目を集めているものとなります。

CDPは2003年以来、世界の主要企業を対象に、温室効果ガスの排出や気候変動による事業リスク・機会などの情報開示を求める質問書を年に1回送付し、その回答をもとに企業の気候変動問題への対応を評価しており、評価はA, A-, B, B-, C, C-, D, D-, Fの9段階で付与されます。また、本投資法人は、2016年にJ-REITとして初めてCDP気候変動プログラムに参加し、今回が4回目の参加となります。

本評価に関する詳しい内容は、CDPの活動のページをご覧ください。

<https://www.cdp.net/ja>

2. 本投資法人のサステナビリティへの取り組み

本投資法人は、資産の運用を委託する資産運用会社である三菱商事・ユービーエス・リアルティ株式会社（以下「本資産運用会社」といいます。）とともに環境や社会全体のサステナビリティ（持続可能性）を確保するための取り組みを主体的に推進しています。

① 本資産運用会社におけるサステナビリティに対する基本的な考え方

本資産運用会社は、「確かな今を、豊かな明日へ。」のスローガンのもと、環境や社会全体のサステナビリティを確保するための取り組みを主体的に推進しています。

それら取り組みの一つとして、2019年8月には「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」が2017年6月に公表した提言の趣旨に賛同を表明しました。

本資産運用会社のサステナビリティに関する取り組み事例については、以下をご参照ください。

本資産運用会社サイト：<https://www.mc-ubs.com/sustainability/index.html>

② 本投資法人におけるサステナビリティに対する基本的な考え方

本投資法人は、ステークホルダーとのコミュニケーション、社会貢献活動を通じた地域とのつながり強化、保有資産における環境配慮と環境負荷軽減等を通じ、環境や社会全体のサステナビリティを確保するための取り組みを主体的に推進しています。

本投資法人のサステナビリティに関する取り組み事例については、以下をご参照ください。

本投資法人サイト：<https://www.jrf-reit.com/sustainability/index.html>

【ご参考】保有資産の環境認証・評価

本投資法人は、サステナビリティ活動を通じ保有資産における各種環境認証・評価を受けています。保有不動産が取得する認証・評価については、以下をご参照ください。

環境認証・評価：<https://www.jrf-reit.com/sustainability/environment/index.html>

本投資法人は、今後も環境や社会的責任に留意した運用を行っていく所存です。

以 上